

単元案の概要

テーマ
短期海外研修で訪問するカナダの交流校の生徒に日本のことを紹介しよう
目標
学習レベル 2～3 ○ カナダの生徒に日本のことを紹介するパワーポイントを作成し、英語で紹介することができる。またそれについて質疑応答できる。
コミュニケーション能力指標
(学校生活) 2-b 学校の簡単な概要(共学、中高一貫、全校/クラスの生徒数、男女別人数、時間割など)を説明した、簡単な資料を作ることができる。 2-c 休み時間や放課後の過ごし方(クラブ活動、生徒会活動、清掃など)について、口頭でまたは書いて紹介しあうことができる。 2-d 学校のスケジュール(1日、週間、年間)について、口頭でまたは書いてやりとりできる。 3-d 自分の学校の行事(行事名、時期、内容など)について、口頭でまたは文章にして紹介することができる。
(趣味と遊び) 3-d 自分の周りではやっていることやものについて、写真や実物を使いながら、口頭でまたは書いて紹介できる。
(地域社会と世界) 2-a 自分たちの住んでいる町や都市について紹介する簡単な資料(位置、都市/農村、産物、人口などの特徴)を作ることができる。 2-b 自分の住んでいる町や都市に対して思っていること(いいところや不便なところなど)を話すことができる。 2-d 日本や相手の国の有名人や建築物について名前や特徴(何をした人か、いつ建てられたかなど)を口頭または特徴(何をした人か、いつ建てられたかなど)を、口頭または文章で紹介できる。 2-f 日本や相手の国の特徴(面積、人口など)を口頭で説明できる。
(自然環境) 2-f 自分の住んでいる地域にある景勝地(場所、名前)を、口頭で紹介できる。
(食) 2-h 日本と相手の国のそれぞれの年中行事で何を食べるかについて、写真などを見せながら口頭で紹介しあうことができる。

学習シナリオ

【場面状況】

中学3年生から高校2年生の希望者が3月に短期海外研修で1週間カナダの交流校へ訪問し、ホームステイをします。カナダの高校生に日本のことを知ってもらうために、PPTを作成し、英語で紹介することにしました。

【活動の流れ】

- ① 3～4人のグループに分かれ、日本について自分たちが紹介したいテーマを決める。

【グループごとのテーマ】

「和歌山の紹介と世界遺産高野山」「日本の食べ物」「日本の伝統文化とあそび」「学校生活」

- ② インターネットや書籍を調べて、情報や映像を集める。それぞれのテーマについて、カナダの情報もインターネットで調べて比較する。
- ③ 写真や資料を使って、スライドを作成する。スライドの枚数は1人3枚とし、全員が発表できるように、分担を決める。
- ④ 英語の台本を作成する。(→提出→教員による添削)
- ⑤ 台本の英文を、正確な発音と英語らしい抑揚をつけて読めるように練習をする。
- ⑥ 発表後のカナダの生徒たちの質問をあらかじめ予想して、対応を考えておく。
- ⑦ 短期研修前に、校内で発表会を開き、ALTや留学生や英語の先生にルーブリックで評価してもらう。
- ⑧ 生徒同士も自己評価や、相互評価を行い、その結果を参考にする。
- ⑨ カナダ研修本番の発表の感想や自己評価を行う。

総括的評価

- ・ グループで決めたテーマにそってスライドを作成する。
- ・ 台本を英語で作成し、暗記して、パワーポイントで発表する。
- ・ 生徒自身による自己評価や生徒同士の相互評価を行い、その結果を参考とする。

3×3+3 分析表

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> 以下のことから関連する必要な語彙や表現を覚える。 プレゼンテーションに必要な語彙や表現 テーマごとに必要な語彙や表現 あいさつやお礼のことば 	<ul style="list-style-type: none"> 各テーマについて、文化の相違や興味関心を考え、どのようなテーマがよいかを考える。 プレゼンに対する相手の反応や質問から、自文化との違いや関係性に気づいたり、推測する。 	<ul style="list-style-type: none"> PPTで映像を使って情報を整理して話すと、わかりやすく効果的であることがわかる。 情報収集にインターネットの有用性を理解する。
できる	<ul style="list-style-type: none"> テーマごとのスライドに英語で説明を書いたり、台本を作成することができる。 正確な発音と表現でプレゼンすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> カナダと日本の文化の、共通点、相違点について分析することができる。 文化の比較、分析を通して、自文化を再認識し、その背景にある考え方や価値などを探求し、自分の考えを表明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループで協力して、PPTを作成し、プレゼンすることができる。 インターネットで情報を収集し、PPTの作成スキルを身につけることができる。
つながる	<ul style="list-style-type: none"> 各テーマのプレゼンを通して相互理解を深め、発表後の質問をし合うことで、積極的かつ主体的に対話をして、相互作用しながら良好な関係を作り上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> カナダの生徒の反応や質問から文化や習慣の違いを相互理解し、異文化理解につながる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各テーマに関連する機関や団体が発行しているパンフレットを参考にする 和歌山県の英語のガイドブック
三連携	連携1：・自分たちでプレゼンのテーマを決める・自文化を意欲的に発信する・目標文化、自文化に関心を持つ 連携2：・中学までの英語の語彙や文法・カナダの地理、歴史 連携3：・ALT、留学生、英語科及び他教科の教員・インターネット、図書館など		

評価ルーブリック

テーマ：カナダの生徒に日本のことを紹介しよう

指示文：交流で訪問するカナダの中高生に日本のことを紹介するプレゼンテーションを行います。グループでテーマを決め、スライド1人3枚作成し、英語で台本を作成してください。プレゼンテーションではメンバー全員が発表できるように分担してください。発表は正確で聞き取りやすい発音と英語らしい表現を心がけてください。発表後質問をするので、英語で答えてください。審査ではパワーポイントでのプレゼンテーションで評価します。

評価基準	目標以上に達成 (4点)	目標を達成 (3点)	目標達成まであと少し！ (2点)	目標達成まで努力が必要 (1点)
台本の英文	豊富な語彙を正しく使い、文法や表現も多様で適切に使っている。	必要な語彙、文法、表現をおおむね正しく使っている。	時々語彙や文法、表現の間違いが見られる。	語彙や文法、表現の間違いが多く、意味を伝えるのに苦労している。
英語の表現	英語らしい発音だけでなく、抑揚にも心がけている。はっきりした大きな声で聞き取りやすい。	英語らしい発音を心がけ、間違いはほとんどない。はっきりした大きな声で、聞き取りやすい。	英語らしい発音をしようと努力が見られるが、言いよどみやいい間違いがある。声は小さく時々聞き取りにくい。	話が途切れたり、沈黙があったりして内容が理解しにくい。発音の問題が多く、意味がよくわからないところが多い。また声が小さく、聞き取りにくい。
スライドの内容	発表のテーマに関する内容について詳細までよく説明し、聴衆の質問にも完全に答えられる。	発表のテーマに関する内容をよく理解しており、聴衆の質問にも、ある程度こたえられる。	発表のテーマに関して十分な知識を持っていないため、やさしい質問には答えられるが、詳細な知識を要する質問には答えられない。	発表のテーマに関して十分な知識を持っていないため、質問に全く答えられない。
スライドの見やすさ	写真やイラストなどを非常に効果的に使い、レイアウトにも工夫が見られ、発表を非常にわかりやすいものになっている。	写真やイラストなどを効果的に使い、レイアウトも適切で、発表をわかりやすいものになっている。	写真やイラストなどを使っているが、量やレイアウトが不十分で、発表の内容の理解を助けるものではない。	発表の内容にあまり関係のない写真やイラストを使っており、発表の内容を助けるものではない。
アイコンタクト	台本を見ることなく、常にアイコンタクトを保ち、表情も豊かである。	時々台本を見るが、聴衆とアイコンタクトを保ち、表情も豊かである。	ほとんどアイコンタクトができず、台本を読んでいることが多い。	聴衆とのアイコンタクトはなく、常に台本を読んでいる。

目標の要素分解

タスク	小目標	中目標	大目標
カナダの人たちに日本のことを知ってもらうために興味を持ちそうなテーマを考える。	グループごとにテーマを決める	テーマを決める	カナダの交流校の生徒に日本のことを紹介するPPTを作成し、英語で紹介できる。
テーマにあった資料や写真を集める	見てわかりやすい視覚にうったえるスライドを作成する	スライドを作成する	
1人3枚のスライドを作る			
スライドを合わせてグループごとに完成させる。			
【形成的評価】見やすいスライドになっているか、チェックする			
日本語で紹介文の要点をまとめる	既習事項を使って英文にする	英語の台本作成	
スライド1枚につき60字程度の英文をつくる			
【形成的評価】英文の台本の提出し、文法の間違いをチェックする			
単語の発音練習	正しい発音と抑揚で、英語らしく読む。	パワーポイントを使ってプレゼンをする	
文章に抑揚をつけて読む			
台本を暗記する	文章を暗記する		
発表する	アイコンタクトやジェスチャーを取り入れ発表の練習をする		
予想される質問を考える	質疑応答と受け答えの練習をする	質疑応答をする	
グループ間で質疑応答をする			
【総括的評価】ルーブリックに従って各グループの発表を評価する			

課題 G 学習者個人的特性に対する対応 (計画)

- ・おとなしく、人前で話すことが苦手である。

英文を暗記しても、人前で発表すると緊張して頭の中が真っ白になってしまい、発表できない。

対応

- ・聞いてもらう人を見つけ、何回も発表の練習をする。発表後は、ワークシートに良かった点、改善点のコメントをもらう。聴衆者の数を徐々に増やして発表の練習をし、自信をつける。